

1. 2025年度事業実績報告

(1) 事業の概要・実績

2025年度は創立60周年を迎え、1年を通じて地域ぐるみで楽しむことを計画した。イベントは8企画実施し、各企画とも印象に残るものとなった。そのような中、施設運営面で利用者の減少や職員の採用が大きな課題となっていたため、下期よりB型利用者採用PJ、職員採用PJを立ち上げることとなった。また、給与制度の見直しも最低賃金の大幅アップが実施されたことと思うように進めることができなかった。給与制度の見直しは継続して取り組むこととする。

地域貢献として、創立60周年ということもあり、大きく3企画を実施した。第1弾は恒例の納涼大会で、向かいの道路を歩行者天国にし、豪華ゲストによるコンサートも行い約4,000人の来場があった。第2弾はインクルーシブひろば2025を開催し、ギネス世界記録にも挑戦をした。この企画にはスポーツ庁の河合長官や別府市長も参加され、大いに盛り上がった。第3弾はeスポーツフェスティバルを開催し、ゆうわ、広寿苑、愛知太陽の家、京都太陽の家をインターネットで結び同時に競技を楽しんだ。この企画では入所している重度の障がいがある方や高齢者もeスポーツには興味を示すことが新たな発見となった。また、太陽の家で制作した車いすに乗ったまま自動車レース競技ができる体験コーナーは行列が出来る程の人気であった。

就労支援関係では、ものづくり以外の新規作業として別府のA型で法人の経理のデータ入力作業を開始し、別府のB型では一般社団法人データワークサポート（青森県）の紹介によるインターネットを使ったデータ入力作業を開始した。

利用者の状況は昨年度と傾向は変わらず、別府エリアのA型・B型利用者は減少、愛知エリアはA型・B型ともに増、京都エリアはA型は減だがB型は大幅増となった。各地域の人口変化に連動していると思うが、別府エリアの対策として下期にB型利用者採用PJを立上げ、現状調査を兼ねた支援学校及び相談支援事業所の訪問を実施した。その結果、太陽の家は難易度が高い、情報が少ない等の声が多いことがわかった。

作業面は全般的に安定しており、A型は672万円、B型は21万円の黒字収支で終わることができた。しかしながら物価高騰の影響は収支面で大きく影響を受けているため、単価の見直しを進めていく必要がある。

2025年度は、別府18名、京都1名、愛知6名、障害者就業・生活支援センターから42名、計67名が社会復帰した。(A型移行も含む)

介護支援関係では、IT機器導入・強化は継続的に進めており、今年度もゆたか、ゆうわ、広寿苑にはインカムの追加や導入により、業務の負荷軽減を行った。このような業務改善を進めることで、大分県の“ふくふく認証”を取得することができた。ふくふく認証取得は職員採用にも繋がるため、幅広くアピールしたい。介護・看護人材の確保は下期より職員採用担当を配置したことにより、徐々に成果が出始め、介護員1名、看護師3名を採用することができた。また、外国人採用については溝部学園入学予定の生徒2名と契約を結び、卒業後

の採用を確約した。

健康サポート面では、30 年以上使用してきたフィットネス機器の入替えを実施した（別府競輪地域振興事業の補助金を活用）。機器が新しくなったことと職員のサポート体制も充実したことで、関連企業や地域の方の利用が大幅に増えることとなった。

長年の課題であった広寿苑の収益状況だが、長期借入金を一括返済したことでプラスに転じることができ、設備投資ができる状況となった。

2025 年度は、ここ数年の動きからではあるが、障害者雇用率の上昇と太陽の家創立 60 周年を迎えたことで、太陽の家を訪れる企業数が大幅に増えた。そこから新規作業の話が出てきているが、利用者の減少で作業を受けることが出来ないなどの問題が発生している。2026 年度は、昨年度立ち上げた B 型利用者採用 P J からの対策を講じ、利用者確保に努めたい。

主要事業

【法人本部】

- ① 障がいのある職員の採用 各拠点で雇用率 7 % を達成（経営企画）
2025 年 10 月より職員採用 P J を立ち上げ採用活動を強化した。障害者雇用率は未達であったが、2026 年 5 月より障がいのある有期職員 1 名が入職する予定である。
- ② 多団体と連携して地域交流イベントを開催（経営企画）
2026 年 3 月に別府公設市場で初開催の亀川マルシェにおいて、福祉ブースとして太陽の家も初出店。太陽ミュージアムのパンフレットを設置し、広報活動を実施した。サンストアのパンやミュージアムグッズ販売も行なった。
- ③ 創立 60 周年記念事業の実施（経営企画）
例年以上に規模を拡大した納涼大会、インクルーシブひろば 2025（ギネス世界記録達成）、インドアスポーツ大会（卓球バレー）、e スポーツフェスティバル等さまざまなイベント開催し、職員や利用者、地域住民との交流が図れた。
- ④ ホームページの全面リニューアル（経営企画）
法人内の意見を取り入れながら約 1 年かけて全面リニューアルを実施した。特に職員採用や利用者募集のサイトには写真や数字データを掲載し、見やすい仕様に変更。
- ⑤ 太陽ミュージアム見学者数 目標 10000 人以上（経営企画）
年間見学者数は 7657 人で目標値には及ばなかったが、引き続き県内外の教育機関、民生委員、企業研修等での受入を行なっていく。新しいホームページの見学予約サイトからミュージアムの見学の空き状況もわかるよう、仕様変更を行なった。
- ⑥ 階層別研修の制度化定着（経営企画）
2025 年 4 月より教育研修規程を一部改正し、階層別研修の一環とし新任係長 2 名・新任課長 2 名を外部研修へ派遣した。
- ⑦ 職員給与制度の見直し（経営企画）
給与制度の改正は出来なかったが、3 月から外部のコンサルとともに、60 歳定年退職後有期再雇用者の待遇見直しについて着手。2027 年 4 月からの改正に向けて定期的な協議を進める。
- ⑧ ペーパーレス化の推進 目標：紙購入量 対前年比 50%（法人本部）
人事起案を皮切りに社内メールを活用した起案回覧を開始した。抜本的な紙購入率の削減には及ばなかったが、次年度は削減策を講じて紙媒体での業務をなくしたい。

- ⑨ 老朽化した情報システムの更新（D X ・管理）
コンサル会社の協力を得ながら入浴管理システムの更改や別府地区ネットワーク環境の整備を実施した。
- ⑩ 施設整備 25 年計画と連動した積立金計画の策定（経営企画）
具体的な積立金計画の策定は出来なかったが、2025 年度は施設整備積立金を原資に 5 億円の利付国債を購入した。次年度以後も毎年 1 億円を目標に積み上げを行なっていきたい。

【別府本部】

- ① 短時間雇用の拡充（別府工場）
短時間でも可能な作業の開拓として P C 事務作業を導入し 1 名の利用者と開始。
別府工場全体では短時間雇用者は 2 名から 5 名で 3 名増加した。
- ② 在宅就労（訓練）の拡大（別府工場、就労移行、B 型）
別府工場では在宅作業者はいないが、P C 事務作業を開始、在宅への展開を進める。
就労移行は 1 名を在宅で訓練開始し、B 型は前年から継続し 3 名の訓練を在宅で実施。
- ③ A I を活用した新規作業の検討（別府工場、B 型）
A I 活用できる新規作業は得られなかったが、指導員が A I カリキュラムを受講し、資料作成、ポスター製作、議事録作成に活かせるようになった。
- ④ P C による新規事務作業の開始（別府工場、B 型）
別府工場は法人より委託を受けた P C 事務作業をスタートし、B 型は外部の業務委託先より P C 新規作業の受注を開始した。
- ⑤ メンテナンス作業の拡大（外部職域拡大）（サンストア）
利用者 2 名から 1 名増員し、協力企業、外部企業の清掃作業を実施した。
- ⑥ 介護サービス事業の拡大（外部職域拡大）（B 型）
黒木記念病院での訓練内容は拡大したものの、介護補助の訓練を希望する方は増えず訓練生の獲得が課題となる。
- ⑦ A 型・一般企業への就職 10 名以上（別府：就労移行）
上期 9 名、下期 4 名の 13 名の就職者を輩出することが出来た。
- ⑧ e スポーツを利用者訓練の拡大
2 回の大会と 4 回の体験会を開催し、延べ 700 名の参加者を得ることが出来た。
- ⑨ オープンキャンパスの実施（別府）
123 名（利用者 50 名）の参加者から実習 13 名、利用 5 名に繋がった。
- ⑩ 各職種必要とされる力量表と育成プランの作成（別府）
相談員、職業指導員の力量表は完成するが、力量を補う育成プランの作成までは至らず、次年度にて完成させる。
- ⑪ 作業会計、施設会計の黒字化（別府：A 型、B 型、就労移行）
作業会計は A 型 672 万円、B 型全体収支 4.6 万円で黒字化達成した。
施設会計は A 型 549 万円、B 型▲1,879 万円、就労移行 2,232 万円で B 型は利用者減により赤字となった。

【大分広域本部】

- ① 東部圏域在住の障がい者の一般企業への就職 50 名以上（地域就労支援）
一般企業への就職者は 42 名で目標達成には至らなかった。今年度は例年に比べ A 型事業所への就職者が 9 名と多かったことも影響している。

- ② 利用者の健康維持、機能維持調査と支援（健康支援）
ゆたか及びB型利用者に対して機能訓練及びスポーツの機会を提供している。全利用者を対象とした、より簡便な機能評価方法を文献調査及びリハ専門委員会で検討した。次年度日本理学療法士協会と協働で取り組んでいく予定である。
- ③ 新規事業（グループホーム事業）の検討（ゆうわ）
福祉ホームの空き部屋を利用した新規事業の検討であったが、利用者及び職員の確保の困難さもあって断念。今後受入れ予定の外国人材向け住宅への転用を検討する。
- ④ ICT及び介護ロボットの継続的推進（ゆたか、ゆうわ、広寿苑）
各拠点でインカムの導入及び追加購入を行った。昨年度末にいち早く導入を図ったゆたかでは、業務効率化、迅速な情報共有等に効果が表れている。また、見守り介護ロボット（aams）の増設を図り安心安全な生活環境を拡げている。
- ⑤ 遠隔操作ロボット（アバター）の活用（広寿苑）
2024年度下期に大分県先端技術挑戦課からの依頼によりアバターを活用した見守りの実証実験を行った。利用者と遠方に居住する家族との面会での利用に可能性を感じたが、恒常的な活用には至らなかった。
- ⑥ 近隣で生活するOB/OGへのサポートの継続（健康支援）
OB/OGへのヒアリング並びに個別相談に対するサポートは継続して行っている。10月に開催したインクルーシブひろば 2025 には多くのOB/OGが参加した。
- ⑦ 新規フィットネス機器の導入（健康支援）
機器更新にあたり別府競輪地域振興補助金を申請し採択された。総額 754 万円のうち 500 万円の助成を受けて実施することができた。3月にリニューアルイベントを実施し地元ニュースや新聞で報道された。
- ⑧ 人材育成の継続的実施と福利厚生の実施（ゆたか、ゆうわ、広寿苑）
力量表による自己チェックと指導者チェックを介護員に留まらずに展開した。今後はさらに力量を高めるための教育研修を充実させる。介護員の施設間交流（実習）を行った。各課での懇親会開催により親睦を深めた。

【愛知京都】

- ① 自主制作商品販売、給食事業の開始（京都：B型）
手ぬぐいを自分たちで染めて、梶の葉とセットにした自主製品を販売し 73,000 円を販売した。また給食事業については、食事の下膳、配膳事業を開始して、利用者 5 名の方が訓練を行った。
- ② 創立 40 周年記念事業の企画（京都総務）
2026 年 4 月 10 日の式典に向けて、式典班、コンサート班、記念品班、記念誌班、メモリアル班、ひまわり改修班と 6 つの班に分かれて企画を実施した。
- ③ A 型・一般就労 11 名（愛知・京都：就労支援）
一般就労 6 名、A 型 1 名となり、目標を達成できなかった。
（ゆうせいチャレンジ、くすりのアオキ、デンソー太陽）
- ④ 施設整備積立金 目標 2,500 万円以上（京都）
A 型及び B 型の報酬体系が上がった影響により大きく収益が改善され、3,533 万円と目標を大きく上回った。

2025 年度主要施設整備

地区	事業名	実績（千円）	補助金(千円)
別府	屋上給水配管盛替工事（別館）	1,210	
	エアコンMAC-4 更新工事（第2作業棟3階）	6,527	
	エレベータ更新工事（サンスポーツセンター）	8,030	
	非常灯改修（全館）	2,750	
	非常用自家発電機点検整備（第1・第3作業棟、サンストア）	880	
	介護サービス科送迎車両（セレナ）購入	3,610	2,100
	フィットネスマシン更新（サンスポーツセンター）	7,824	5,000
	ICT機器（aams：ゆたか）購入	1,865	1,125
日出	個別空調エアコン更新工事（居住棟）	3,555	
	壁紙貼替工事（居住棟）	延期	
	男女トイレ部改修工事（居住棟）	延期	
	廊下建具枠塗装・巾木改修工事（施設内）	延期	
	固定式リフト	1,698	1,189
	公用車更新（福祉車両：N-BOX）	1,901	
	敷地内アスファルト一部改修工事	7,700	
	LED照明器具交換工事（ゆうわ及び福祉ホーム）	3,670	
杵築	ネットワーク環境整備費	1,980	
	ICT機器（インカム通信機器等）購入	2,190	1,315
	ノーリフト用福祉機器（車いす）購入	998	744
	業務用脱水洗濯機更新購入	2,464	
愛知	中央制御装置更新	1,030	
	外壁(作業棟) 及び防水工事（福祉ホーム）	46,104	
京都	エアコン改修工事（管理棟4階）	2,750	

参考資料（過去5年間の利用者推移 各年度4月末日付）

拠点	サービス別	定員	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	充足率
別府	就労継続A型	60	51	44	44	41	45	75%
	就労継続B型	175	159	153	158	149	137	78%
	施設入所	110	93	90	91	88	83	75%
	就労移行支援	20	20	23	23	22	21	105%
	生活介護(ゆたか)	40	39	39	39	40	40	100%
日出	生活介護(ゆうわ)	60	63	58	59	60	58	97%
杵築	特別養護老人ホーム	80	73	75	78	77	73	91%
愛知	就労継続A型	14	13	15	12	18	16	114%
	就労継続B型	40	40	38	39	39	39	98%
	就労移行	6	2	4	2	3	1	17%
	生活介護	20	22	26	27	26	23	115%
京都	就労継続A型	34	34	31	33	32	31	91%
	就労継続B型	60	62	67	68	73	74	123%
	就労移行	6	6	4	3	1	2	33%